

資源開発研究部門

Medicinal Resources

生薬資源科学分野

Pharmacognosy

教授	小松かつ子	Katsuko Komatsu
准教授	田中 謙	Ken Tanaka
助教	朱 姝	Shu Zhu

◆ 著 書

- 1) 小松かつ子, 伏見裕利: チベット医薬学治療. 治療「相補・代替医療の現況をみる」, Vol.89, 3月増刊号, 1008-1017, 南山堂, 東京, 2007.
- 2) 小松かつ子: チベット医学. 日本統合医療学会編「統合医療 基礎と臨床」, Part 2. 臨床編, 42-48, ゴディアック, 東京, 2007.
- 3) 小松かつ子原案・監修: 漢方薬と生薬の基礎. 「和漢医薬学の基礎知識」全3巻DVD, 第1巻, 富山大学企画・製作・著作, 医学映像教育センター制作, 東京, 2007.

◆ 原 著

- 1) Zhu S., Fushimi H., Han G., Tsuchida T., Uno T., Takano A., and Komatsu K.: Molecular Identification of “Chuanxiong” by Nucleotide Sequence and Multiplex Single Base Extension Analysis on Chloroplast *trnK* Gene. *Biol. Pharm. Bull.*, 30: 527-531, 2007.
- 2) Zou K., Komatsu K., and Zhu S.: A Novel Compound from *Hedysarum polybotrys*. *J. Asian Nat. Prod. Res.*, 9: 481-485, 2007.
- 3) Hou X. L., Takahashi K., Kinoshita N., Qiu F., Tanaka K., Komatsu K., Takahashi K., and Azuma J.: Possible inhibitory mechanism of *Curcuma* drugs on CYP3A4 in $1\alpha, 25$ dihydroxyvitamin D₃ treated Caco-2 cells. *Int. J. Pharm.*, 337: 169-177, 2007.
- 4) Tanaka K., Kubota M., Zhu S., Sankawa U., and Komatsu K.: Analysis of Ginsenosides in Ginseng Drugs Using Liquid Chromatography-Fourier Transform Ion Cyclotron Resonance Mass Spectrometry. *Nat. Prod. Comm.*, 2: 625-632, 2007.
- 5) Sukrong S., Zhu S., Ruangrunsi N., Phadungcharoen T., Palanuvej C., and Komatsu K.: Molecular Analysis of the Genus *Mitragyna* Existing in Thailand Based on rDNA ITS Sequences and Its Application to Identify A Narcotic Species: *Mitragyna speciosa*. *Biol. Pharm. Bull.*, 30: 1284-1288, 2007.
- 6) Sasaki Y., Komatsu K., Takido M., Takeshita K., Kashiwagi H., and Nagumo S.: Genetic Profiling of *Sasa* Species by Analysis of Chloroplast Intron between *rbcL* and ORF106 and Partial ORF106 Regions. *Biol. Pharm. Bull.*, 30: 1511-1515, 2007.
- 7) El-Halawany A. M.*, Chung M. H., Ma C. M., Komatsu K., Nishihara T., and Hattori M.: Anti-estrogenic Activity of Mansorins and Mansonones from the Heartwood of *Mansonia gagei* Drumm. *Chem. Pharm. Bull.*, 55: 1332-1337, 2007.
- 8) Tanaka K. and Komatsu K.: Comparative study on volatile components of *Nardostachys* Rhizome. *J. Nat. Med.*, 62: 112-116, 2007.

◆ 総 説

- 1) 小松かつ子, 佐々木陽平, 東田千尋, 田中 謙: 鬱金類生薬の基原と品質. *Foods & Food Ingredients Journal of Japan*, 212 (5): 345-356, 2007.
- 2) 小松かつ子: 民族薬物データベースと証類本草データベース. *薬学図書館*, 52 (4): 322-333, 2007.

◆ 学会報告

- 1) Komatsu K., Nagayama Y., Wei S. L., Tanaka K., Zhu S., Tu P. F., and Cai S. Q.: Genetic and chemical diversity of Rhubarb. Innovative Team Program in Peking University & 21st Century COE Program in University of Toyama - Joint Symposium “Evidence-based Approach to Traditional Medicine and Modern Medicine,” 2007, 6, 25, Beijing.
- 2) Oya M.*, Zhu S., Tanaka K., and Komatsu K.: Molecular analysis and quality evaluation of *Eleutherococcus* species and

Shigoka drugs. JSPS-NRCT Core University Program – Follow-up Seminar, 2007, 11, 27, Bangkok, Thailand.

- 3) 久場良亮*, 田中 謙, Shu Zhu, 魏 勝利, 合田幸広, 渡邊裕司, 小松かつ子: ガジュツの精油成分による品質評価. 日本薬学会第 127 年会, 2007, 3, 28-30, 富山.
- 4) 福田祥子*, 田村隆幸, 田中 謙, 荒川清美, 小松かつ子: LC/MS によるモンゴル産 *Astragalus* 属植物の品質評価. 日本薬学会第 127 年会, 2007, 3, 28-30, 富山.
- 5) 候 暁瓏, 高橋京子, 邱 峰, 田中 謙, 小松かつ子, 高橋幸一, 東 純一: CYP3A 誘導 Caco-2 細胞を用いた薬物相互作用の解析. 日本薬学会第 127 年会, 2007, 3, 28-30, 富山.
- 6) 中村憲夫, 内山奈穂子, 小西天二, 小松かつ子, 服部征雄: タイ民族薬物の抗トリパノソーマ活性 (2). 日本薬学会第 127 年会, 2007, 3, 28-30, 富山.
- 7) 新谷卓弘, 田原英一, 森山健三, 中尾紀久世, 月岡康行, 高屋 豊, 新澤 敦, 二宮裕幸, 山本 篤, 小松かつ子, 岩井孝明, 岩井正憲: 紅参の唾液アミラーゼ活性に与える影響について. 第 58 回日本東洋医学会学術総会, 2007, 6, 15-17, 広島.
- 8) 小松かつ子: 薬用植物の多様性の解析—標準化と有効利用に向けて. 薬用植物フォーラム 2007, 7, 12, つくば. (招待講演)
- 9) 田中 謙: メタボローム MS スペクトル統合データベースの開発, JST-BIRD プロジェクト, 2007, 7, 27-28, 山形. (招待講演)
- 10) 小松かつ子: 生薬の品質の多様性—莪朮と大黄. 第 24 回和漢医薬学会大会, シンポジウム 1. 和漢薬標準化の内と外, 2007, 9, 8-9, 富山.
- 11) 福田祥子*, 田中 謙, 小松かつ子: 黄耆成分 Astragaloside 類の体内吸収成分に関する研究. 第 24 回和漢医薬学会大会, 2007, 9, 8-9, 富山.
- 12) 大家真由子*, Zhu Shu, 田中 謙, 丸山卓郎, 合田幸広, 川崎武志, 藤田正雄, 小松かつ子: *trnK* 遺伝子の塩基配列に基づく刺五加の同定 (2). 第 24 回和漢医薬学会大会, 2007, 9, 8-9, 富山.
- 13) 伏見裕利, 伏谷眞二, 小松かつ子, 蔡 少青, 伏見直子: 『本草品彙精要』に記載されている漢薬「滑石」の現地調査. 第 24 回和漢医薬学会大会, 2007, 9, 8-9, 富山.
- 14) 田中 謙, 福田祥子, 田村隆幸, 小松かつ子: LC-MS による黄耆成分の比較分析. 第 24 回和漢医薬学会大会, 2007, 9, 8-9, 富山.
- 15) 候 暁瓏, 高橋京子, 田中 謙, 小松かつ子, 高橋幸一, 東 純一: ウコン属生薬と由来成分クルクミンの P-gp に対する作用の相違. 第 24 回和漢医薬学会大会, 2007, 9, 8-9, 富山.
- 16) 木谷友紀*, Zhu Shu, 田中 謙, J. Batkhuu, C. Sanchir, 小松かつ子: *Ephedra* 属植物の遺伝子解析とモンゴル産同属植物の有用性に関する研究 (3). 日本生薬学会第 54 回年会, 2007, 9, 14-15, 名古屋.
- 17) 田中 謙, 伊奈隆年, 久場良亮, 小松かつ子: 多変量解析による生薬評価指標の開発 (1) —*Curcuma phaeocaulis* の抗炎症活性をモデルとして—. 日本生薬学会第 54 回年会, 2007, 9, 14-15, 名古屋.
- 18) 魏 勝利, 朱 姝, 屠 鵬飛, 蔡 少青, 小松かつ子: *Rheum* 属植物の分子系統学的研究 (4) —遺伝子型の地域特異性について—. 日本生薬学会第 54 回年会, 2007, 9, 14-15, 名古屋.
- 19) 安井美穂, 丸山卓郎, 合田幸広, 小松かつ子, 中島育美, 川崎武志, 藤田正雄, 嶋田宏志, 山本 豊, 柴田敏郎: ITS 塩基配列によるシゴカの基原種鑑別 (2). 日本生薬学会第 54 回年会, 2007, 9, 14-15, 名古屋.
- 20) 中島育美, 川崎武志, 藤田正雄, 丸山卓郎, 川原信夫, 合田幸広, 小松かつ子, 柴田敏郎, 山本 豊: エゾウコギ及び近縁植物 (マンシュウウコギ) の成分について. 日本生薬学会第 54 回年会, 2007, 9, 14-15, 名古屋.
- 21) 小松かつ子, 佐々木陽平, 田中 謙, 東田千尋: ウコン類生薬の基原と品質. 第 9 回応用薬理シンポジウム, シンポジウム⑤ ウコンの多機能性とその将来展望, 2007, 9, 10-11, 東京. (招待講演)
- 22) 小松かつ子: 中国の生薬事情—薬用資源植物の調査研究から. バイオジャパン 2007, 生物資源「アジアの生物資源戦略—巨竜・中国および巨象・インドと日本の共栄のシナリオ—», 2007, 9, 19-20, 横浜. (招待講演)
- 23) 小松かつ子, 田中 謙, 久場良亮, 伊奈隆年: 鬱金類生薬の成分多様性と抗炎症作用との関連. 第 2 回食品薬学シンポジウム, 「健康長寿に向かう個の医療と薬食同源」ミニジョイントセッション—静岡県立大学グローバル COE 「健康長寿新戦略拠点」と富山大学 21 世紀 COE プログラム「東洋の知に立脚した個の医療の創生」—, 2007, 10, 18-19, 静岡.
- 24) 田中 謙: 成分と薬効の情報を融合させた生薬データベースの構築. 研究所セミナー, 2007, 11, 7, 富山.
- 25) 小松かつ子: 人參類生薬の遺伝的・成分化学的多様性と基原解析用 DNA マイクロアレイの開発. 富山大学 21 世紀 COE プログラムシンポジウム「東洋の知に立脚した個の医療の創生」, 2007, 11, 16, 富山.

- 26) 魏 勝利, 朱 姝, 長山頼信, 田中 謙, 屠 鵬飛, 蔡 少青, 小松かつ子: *Rheum* 属植物及び大黃の遺伝的・成分化学的多様性の解析. 富山大学 21 世紀 COE プログラムシンポジウム「東洋の知に立脚した個の医療の創生」, 2007, 11, 16, 富山.
- 27) 小松かつ子, 田中 謙, 久場良亮, 嶋田康男, 山本 豊: ウコンの成分含量測定法について. 第 36 回生薬分析シンポジウム, 2007, 11, 22-25, 大阪.

◆ その他

- 1) 小松かつ子: 薬草観察会. 第 8 回加賀・能登の薬草シンポジウム, 2007, 5, 26-27, 石川.
- 2) 小松かつ子: 生薬の遺伝的・成分化学的多様性と基原解析用 DNA マイクロアレイの開発. (財) ヒューマンサイエンス振興財団来学講演, 2007, 7, 6, 富山.
- 3) 小松かつ子: 野外で薬草を観察する会. 富山県薬事研究所, 2007, 7, 8, 富山.
- 4) 小松かつ子: 体験実習 生薬方剤の鑑定, 桂枝茯苓丸をつくってみよう. 第 12 回和漢医薬学総合研究所夏期セミナー, 2007, 8, 28-30, 富山.
- 5) 朱 姝: 体験実習 地黄を修治してみよう. 第 12 回和漢医薬学総合研究所夏期セミナー, 2007, 8, 28-30, 富山.
- 6) 小松かつ子: 和漢薬の品質の多様性と標準化—大黃とウコン類生薬について. 第 64 回富山薬窓会兵庫県支部総会, 2007, 9, 30, 神戸.
- 7) 小松かつ子: モンゴルの環境及び医学に関するコメント. 「濟世利民」—国境を越える富山売薬—, 北日本放送, 2007, 10, 28, 富山.
- 8) 田中 謙: 質量分析による生薬の多様性の解析. Thermo Fisher ユーザーズフォーラム, 2007, 10, 3, 東京.
- 9) 小松かつ子, 田中 謙, 朱 姝, 幸 雅子, 出口鳴美: 民族薬物資料館の案内, 解説等. 第 10 回民族薬物資料館一般公開, 2007, 10, 27, 富山.
- 10) 小松かつ子: 21st Century COE Program in University of Toyama. 中医薬国際科技合作大会, 2007, 11, 28-29, 北京, 中国.
- 11) 小松かつ子: 体験実習 1. 和漢薬を見て, 触れて, 味わってみよう. 初心者にもわかる和漢薬一日セミナー, 富山大学和漢医薬学総合研究所&富山県国際伝統医学センター主催, 平成 19 年度富山県民生涯学習カレッジ連携講座, 2007, 12, 9, 富山.
- 12) 小松かつ子: 体験実習 2. 薬膳で学ぶ「医食同源」. 初心者にもわかる和漢薬一日セミナー, 富山大学和漢医薬学総合研究所&富山県国際伝統医学センター主催, 平成 19 年度富山県民生涯学習カレッジ連携講座, 2007, 12, 9, 富山.